芙蓉

vol.39
2012.12月 発行

七五三を迎えた子どもたち
丸喜衣装、アイボリー美容室、ひまわり美容室、タカオカスタジオの皆様と

社会福祉法人 芙 蓉 会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地
TEL〈0545〉52-0402　FAX〈0545〉55-1119
http://www.fuyoukai.org

児童養護施設	ひまわり園	TEL0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL0545-55-1811

公分母

頌春

「地域ニーズに即した複合施設建設計画について」

理事長　戸巻 芙美夫

社会福祉法人芙蓉会は1903年に誕生し、今年で110年を迎えます。

富士郡島田村吉原町にて事業を始め、多くの人々に愛され、支えられ、ご協力いただき今日を迎えました。

現在、社会福祉法人に求められていることは、地域ニーズに即した経営判断を的確に行い、中長期的な経営計画に基づいて各事業を運営していくことだと考えます。

法制度の狭間の問題、地域における家庭の問題、高齢者や障害者、疾病等の問題、乳幼児や児童などの育児問題など、様々に複雑な問題が山積している中、「芙蓉会に行けば問題解決の道筋が見える」と期待されるような複合施設の設立計画が、芙蓉会理事会に於いて承認され、土地の購入を含めた計画に着手することになりました。

大事業ですので、皆様のご援助・ご協力を切にお願いするとともに、この計画の一日も早い目標達成を祈り、新年のご挨拶と致します。

＊みぎわ園＊

時の栖でイルミネーションを満喫してきました

年の瀬もおしせまった11月22日、入居者様と時の栖のイルミネーションを見学に行ってきました。

途中、海老フライ定食を食し、まずお腹を満たしました。

いざ、イルミネーションへ!!

ついたら思ったほど寒くなく、人混みも想像していたより落ち着いていました。

光のトンネル、何て素晴らしいのでしょう。入居者様の表情も自然と笑顔になりました。

紅葉も同時に観ることができ最高!!

よし来年も来よう。

＊ふようデイサービスセンター＊

第42回 富士市福祉展見学

機能訓練の一環として、10月17日･18日･19日の三日間、外出を楽しまれました。
利用者様の作品を鑑賞されました。
中でも、「デコパージュ」と言う石鹸の作品や画用紙に作られた「バラ」「習字」「紙きりこ」などを鑑賞されておりました。

秋の遠足

11月から12月にかけて、「秋の遠足」を行いました。
コースは、「富士川楽座」「沼津港」「アピタ」などあり、個々に希望を募り外出いたしました。
袋一杯にお買い物を楽しまれてる方。景色を楽しまれる方。
いつもとは違う開放感を楽しまれておりました。

＊デイサービスセンターみぎわ園＊

紅葉狩りに行ってきたよ!

紅葉狩りの為、富士宮市の田貫湖へ行って来ました。週の始めには雨が降っており、この日も天気が危ぶまれましたが、幸いにも晴れ男、晴れ女に恵まれたおかげで利用者様･スタッフ全員で行くことができました。
今後も利用者様の生活意欲を引き出し、社会活動への参加や昨日訓練の向上を目的に外出の機会を提供していきたいと考えています。

みなさんお腹いっぱい召し上がりました

いつもの昼食を厨房スタッフの協力の下、バイキング形式で提供させて頂きました。複数のメニューを利用者様ご自身が選び、召し上がって頂きました。皆様、好きなおかずを好きな量だけ選び、美味しそうに口に運ばれました。
食欲は健康のバロメーターです。利用者様の自己決定や意欲を尊重し、今後もバイキングの企画を継続していきたいと考えています。

＊ひまわり園＊

秋から冬に向けて、子どもたちはクリスマスを待ちわび、心躍らせながら日々を過ごしています。寒さに負けない元気な子どもたちの姿をご紹介します。

5F

大地

大地では「がんばり表」をやっている子どもがたくさんいます。それぞれの目標は、「朝の支度を頑張る」「おしっこをもらさない」「皆と一緒にご飯を食べ終わる」「学校から真っ直ぐ帰ってくる」等様々です。大人にとっては些細な事でもその子にとっては重大事です。シールを貯めて、職員と一緒に買い物に行くことを楽しみに、毎日奮闘しています。

銀河

ひまわり園の子どもたちは、小さい頃からサッカーに親しんでいます。ですから、毎年1月に行われる施設対抗の冬季球技大会（サッカー大会）は銀河の子どもたちにとって特別な意味があります。ひまわり園が強豪であることは、どのチームも知っており、各チームはひまわり園に勝つために練習を重ねています。

迎え撃つ銀河の子どもたちも練習に熱が入っています。

4F

けやき

けやきの子どもたち全員で富士急ハイランドへ行ってきました。

写真は、5歳の男の子がメリーゴーラウンドに乗っている姿です。目を輝かせながら乗るものを捜し、写真の大きな馬を選びました。一人で乗ったのは初めてで動き始めるまでは緊張していましたが、動き出した時の笑顔ははじけるばかりでした。

天気に恵まれ、笑顔が絶えない時間を過ごし、大人も子どもも幸せな一日になりました。

かえで

11月11日、第12回神戸招待サッカー大会が開催されました。ひまわり園の子どもたちでつくる、芙蓉会フットボールクラブ（FFC）も、大会に参加しました。富士市のサッカー少年団の各チームや大会に特別招待を受けたチームと試合を繰り広げ、結果はなんと優勝!!

子どもたちはこの優勝で得た自信と誇りを胸に、1月に開かれる施設対抗の冬季球技大会で、自分たちに挑んでくるチームを迎え撃ちます。

3F

りんどう

10月21日に第32回市民福祉まつりが開催されました。ひまわり園も参加しました。

ステージ部門では、幼児さんたちが保育士の手作り衣装を身につけ、オペレッタを披露しました。幼児さんたちの可愛らしい演技に、会場が笑顔で包まれました。

さくら

透き通るような秋晴れの中、恒例のハイキングに出かけました。今年は須津川渓谷を歩きました。夏とは違う彩り豊かな渓谷は大人の目を楽しませました。しかし、子どもたちには秋の味わいなど何処吹く風。真夏と同じように冷たい川の水をものともせず、元気に遊んでいました。

＊みどり園＊

「秋・冬」

「子どもは風の子」の言葉通り、頬を真っ赤にして走り回る子ども達。全身を動かしながら遊ぶうちに、少しずつ体力もついてきたようです。これから寒さもいよいよ本番。冷たい木枯らしとも仲良しになって、元気に寒さを乗り越えたいものです。

『お食い初め』

みどり園では5ヶ月になると、園長と担当職員でお食い初めのお祝いをします。初めて重湯を口にし、驚いて泣き出す子や、身を乗り出して大きく口を開ける子など、反応は様々です。これからの人生における食の第一歩として、とても大切にしている行事の一つです。

『七五三』

数え年で2歳を迎えた子ども達が七五三の衣装に正装しお祝いをしました。普段着慣れない晴れ姿に、少し澄ました顔ではにかんでいるのがとても可愛く、印象的でした。お楽しみ会では千歳飴の袋を作り、それにお絵描きをしました。職員が考えた昼食メニューのリラックマの稲荷寿司に、子ども達は大喜びをしていました。

＊ひ ろ み＊

ひろみには進路を決める時期を迎えた子が2人います。
中学校3年生の女の子は市内の公立高校受験を目指して、勉強を頑張っています。

高校3年生の女の子は介護福祉関係の専門学校に合格しました。以前から希望していた進路であり、合格に向けて努力してきたので、とても喜びました。後輩たちにとって、良いモデルとなってほしいです。

「芙蓉会 防災訓練」

「みぎわ園・ふようデイサービスセンター」

みぎわ園においての防災、減災活動は、月に一度、防火管理者を中心に、各ユニットごとに夜間の火災想定や地震を想定して、ワークショップを行っています。それにより、事務職を含む全職員は防災器具の使用方法、避難経路の確認を定期的に行って、災害が発生した時でも安全に利用者様を誘導出来るよう日常より訓練しております。又、その結果をユニットに持ち帰り利用者様と共に相互理解を深めるようにしています。今後おこりうる災害より被害を最小限度に食い止めるようこれからもいままで以上に全職員で防災、減災活動に努めていきます。

「ひまわり園 」

ひまわり園では、毎月、防災訓練を実施しています。写真は、9月1日に行われた、総合防災訓練の様子です。高齢児は、避難訓練だけではなく、地域の方と連携した応急救護の訓練や、放水訓練も行っています。いざという時は、地域の力になるべく、備えています。

「みどり園」

みどり園では火災や地震を想定し、毎月防災訓練を行っています。また9月の防災の日や11月の社会福祉施設防災の日には、普段の避難訓練に加え、テントの設営訓練と炊き出し訓練も実施します。子ども達の小さな命を守る身として、職員一人一人の防災意識を高めています。

「ひろみ」

ひろみでは、月1回の避難訓練と、年2回、地域の防災訓練に参加しています。

地域の中で生活しておりますので、地域の一員として、災害が発生した際には近隣住民の方々とお互いで助け合える関係の形成を目指しています。

救急救命講習

社会福祉法人芙蓉会では10月22日･11月7日･20日の3日間で『救命救急講習会』を開きました。講習会では「応急手当指導員」（法人職員）が一般職員に対してAEDの使い方、緊急時の応急処置の方法などを伝達し、救命救急を学んでおります

「講習指導員」による講義

実技指導の様子

「講習指導職員」より

2011年3月東日本大震災が発生し最近では東海地震が近いうちに来るといわれている言われている今、専門職でない方々の人命救助がとても大切になってきています。

その中で身近な人達が傷病者を応急手当することで尊い命を救うことができるのが救命救急です。芙蓉会ではこの救命救急講習を毎年、普及員により実施していてほぼ全職員が救命救急講習を終了しており、いざという時に備えています。

施設内だけでなく見知らぬ傷病者であっても見過ごすことなく勇気を持って救命の手を差し伸べるよう講習で強く受講者に訴えています。

多くの人が基本技術を身につけておけばそれだけ助かる命も多いことにつながります。

今後も多くの尊い命を救う手助けができるよう講習会を継続していく予定です

ありがとう

当法人にたくさんのご寄付をいただきありがとうございました。
お礼を申し上げここに紹介させていただきます。（敬称略）

アイリオ生命保険㈱社会貢献推進部、石川恵子、伊藤さかえ、内野孝子、沖本洋子、㈱角山、菊池光男
小泉仁美、光栄寺 戸澤詠子、佐野貞子・鈴代、佐藤幸一、㈳静岡県母子寡婦福祉連合会、篠原桂子
白井ひろみ、静岡県経済産業茶業農産課、スーパー銭湯鷹の湯、㈱大松園、西山文恵、原村ゆき子
平山忠夫、富士警察署地域安全協議会、マルハン鷹岡店、マルハン荒田島店、三橋巴、門司一徹
安ケ平吉朗、㈶養鰻振興基金のぼり会事務局、渡辺建設工業㈱、匿名2名

（H24.9.21～11.30）

後援会会員芳名（敬称略）

青山百合子　伊藤芳亮　内田牛乳店　遠藤　健
佐藤健治　白井ひろみ　(有)鈴吉商店　月岡米子
戸塚保次　戸巻ひさ子　戸巻紀美子　内藤恵美子
芳賀正治　芳賀道子　望月保夫・瑠美子
ヤマグチ電機(株)　吉原教会　(株)大松園

後援会について

年間会費 個人会費　1口　1,000円
会社 団体会員　1口　3,000円
何口でも結構です

振込先

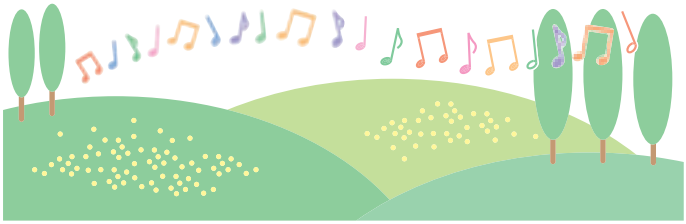
郵便局振替口座
・口座番号　00880-0-2423
・口座名称　芙蓉会後援会

ボランティアさん紹介

「One's Mind」「リプルマーク」「Def hair BRAND」「美容室 Bee」様

平成21年より、「One's Mind」の其田様の声かけにより、有志の美容師さんたちが集まり、無料で子どもたちの髪をカットしてくれています。美容師の方々は、子どもたちの要望に丁寧に答えてくださり、子どもたちの髪型は、随分と洗練されたものになりました。

中高生の子どもたちにとって、自分の好きな髪型になれることは、今の生活を前向きにとらえられる大きな要因になります。美容師の方々が、子どもたちの笑顔を下支えしてくれています。



苜安箱（H24.9～H24.11）

施設名	時期	内　容	回　答（対策）
ひまわり園	10月	隣住人より 子どもに、園舎から野球ボール（軟式ボール）を投げられて、屋根に当たった。屋根にはソーラーパネルを設置してあり、苦情を出したが改善されない。 ソーラーパネルが壊れていたら弁償してほしい。今後は物を投げないように指導してほしい。	苦情を受けたお宅に、ボールを投げた子と謝罪に伺う。その際、ソーラーパネルの点検・修理をしている業者を教えてもらい、その業者に点検を依頼した。点検が入る日に再度このお宅に伺い、業者と共に屋根に登りソーラーパネルを確認した。点検の結果、破損箇所はないとのことだった。業者の出張料はひまわり園で支払った。 子どもたちに、ひまわり園は5階からなる高層の建物であり、近隣の方々にとってはそこから物が降ってくるということは大変な恐怖であることを伝えた。決して物を投げないように、子どもたち全員に指導した。

※今回、他の施設はありませんでした。

編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。今年も暗いニュースが続く中、ロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍に日本中が笑顔になりました。来年は芙蓉会百十周年を迎えます。芙蓉会も皆様と共に笑顔溢れる一年になるよう邁進してまいります。